

# とどくんですプラス

## 特別勘定の現況 兼 特別勘定レポート

（2011年度）

（2012年5月発行）

### ● 投資環境（2011年度）

**日本株式市場** 東日本大震災による景気回復の遅れが懸念されたものの、内外の経済指標が持ち直し傾向を示したこと等から、日経平均株価は上昇して始まりましたが、為替介入後も続く円高基調が敬遠されて8月には下落に転じ、震災以来4ヵ月半振りに9,000円を割り込み、さらに欧州債務問題への根強い警戒感等によって、11月には当期最安値となる8,160円に下落しました。その後は景気先行き懸念がやや後退し、為替が円安方向に転じ企業業績の改善期待から上昇し、期末の日経平均株価は10,083円で終了しました。

**外国株式市場** 期初、堅調に推移したものの、欧州債務問題が拡大するとの懸念や米GDP成長率が市場予想を下回ったこと等から年初に急落し、8月の米国債の格下げでS&P500は1,099.23、FTSE100は4,944.44の安値を付けました。1月には悲観的な見方が幾分緩和され、ユーロ加盟国の格下げ後も金融市場に混乱もなく、期末に向けギリシャへの第2次支援が決定したこと、FOMC（米連邦公開市場委員会）が景気判断を上方修正したこと等から上昇に転じ、S&P500が1,408.47、FTSE100は5,768.45で終了しました。

**日本債券市場** 年度を通じて金利低下傾向となりました。期初、財政への先行き不透明感、地震復興に伴う国債増発の可能性等を背景に債券相場は下落、10年国債利回りは1.338%まで上昇しました。その後は、米国の景気減速懸念やギリシャ債務問題の不透明感から、金利は低下基調となりました。11月に米大手格付け会社が日本国債の格下げを示唆したことから債券市況は急落したものの、欧州9カ国の国債格下げで日本債券への選好が強まり0.946%まで低下しました。期末には若干上昇して0.989%で終了しました。

**外国債券市場** 期初、米国10年国債利回り3.47%、ドイツ10年国債利回り3.35%で始まりしました。ギリシャに端を発した信用不安がイタリアやスペインにも拡大し、高い信用力を持つ米国やドイツ国債に資金が集中した結果、9月には米国で1.72%、ドイツで1.67%まで低下しました。一時は株式市場やガソリン価格の上昇によるインフレ期待等から金利が上昇しましたが、欧州債務問題の不透明感等から金利は低下し、期末には米国10年国債利回りは2.21%、ドイツ10年国債利回りは1.79%で終了しました。

**外国為替市場** 米ドルは米国の長期金利の低下や欧州債務問題に加え、逃避通貨としての円買いから、10月には戦後最安値の1米ドル＝75.82円まで下落しました。ユーロも欧州信用不安の拡大、11月のECB（欧州中央銀行）の利下げ実施や財政問題懸念から下落を続け、1月には約11年振りのユーロ安・円高水準となる1ユーロ＝97.26円を付けました。その後は、日銀の金融緩和強化や日本の貿易赤字化等を背景に期末にかけて円安が進み、期末には、1米ドル＝82.87円、1ユーロ＝110.56円で終了しました。

### ● 特別勘定の運用方針

①当期の運用実績の推移

特別勘定の運用状況をご参照ください。

②当期の運用方針

当社は、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。

③今後の運用方針

当社は、今後とも、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。

### ● 特別勘定の運用収支状況（2011年度）

（単位：百万円）

区分	金額
	世界バランス35R
利息配当金等収入	11
有価証券売却益	-
有価証券償還益	-
有価証券評価益	1,485
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	32
有価証券償還損	-
有価証券評価損	4
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	1,459

最終ページには「ご負担いただく費用について」、「投資リスクについて」等が記載されておりますので、必ずご確認ください。



## ご契約者さまへのご案内

- 当資料はご契約者さまに特別勘定の運用状況や運用概況などをお知らせするための資料です。
- 当資料はご契約者さまの運用状況などをご案内する「ご契約状況のお知らせ」とは異なります。ご契約者さまの個別の運用状況は掲載されておりませんのでご了承ください。
- 今回の月次運用レポートは発行月前月末時点の最新データによるものです。
- 各種データの収集、加工のためにデータ基準日からレポートのご提供までお時間をいただいております。何卒ご了承ください。
- 各種変更手続き、積立金額のご照会など、ご契約に関するお問い合わせは下記フリーダイヤルまでご連絡ください。

ご契約者さま専用テレホンサービス      0120-155-730

受付時間    月～金／9:00～17:30  
(祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)

- ホームページによる情報提供とサービス

東京海上日動フィナンシャル生命 ホームページ

<http://www.tmn-financial.co.jp>

ご契約者さま専用ページでは、ログインIDとパスワードを使って、インターネットから住所変更などのお手続きや運用状況の確認を行うことができます。  
データは毎営業日に更新されますので、いつでも最新の情報を得ることができます。

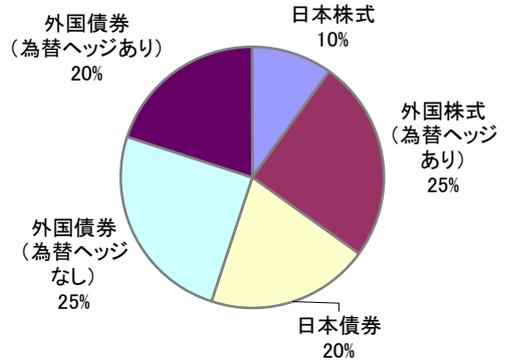
ログインIDとパスワードはご契約者さまご本人において厳重に管理していただき、第三者に開示されることのないようお願い申し上げます。

- 東京海上日動フィナンシャル生命では、個別の運用に関するご相談は承っておりません。運用のご相談は、担当の代理店・募集人をお願いいたします。

## 特別勘定の内容

この商品の特別勘定は以下のとおりです。  
なお投資対象となる投資信託については、次ページ以降をご覧ください。

種類	総合型	投資対象となる投資信託	クレディ・アグリコル・世界バランス35VA (適格機関投資家限定)
特別勘定の名称	世界バランス35R	運用会社	アムンディ・ジャパン
特別勘定の設定日	2007年12月13日	資産運用関係費用 (年率) <sup>(注)</sup>	0.2624475%(税抜0.24995%)程度
運用方針	<p>国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。</p> <p>基本資産配分は、日本株式10%、外国株式(為替ヘッジあり)25%、日本債券(短期金融資産を含む)20%、外国債券(為替ヘッジなし)25%、外国債券(為替ヘッジあり)20%です。</p>		



(注) 資産運用関係費用は、「クレディ・アグリコル・世界バランス35VA(適格機関投資家限定)」の信託報酬率と「クレディ・アグリコル・世界バランス35VA(適格機関投資家限定)」が主に投資対象とする投資信託証券の基本資産配分比率に応じて求められる信託報酬率の合計を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務に要する諸費用、有価証券の売買手数料および消費税等の諸経費がかかります。なお、これら資産運用関係費用は、各投資信託の組入比率や運用状況によって異なりますので、具体的な金額や計算方法を記載しておりません。また運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。

## 特別勘定の運用状況

2012年4月末現在

### ● ユニットプライスの推移



### ● ユニットプライスの期間収益率(直近1年)

	ユニット プライス	前月比	期間収益率 (左記基準日より 2012年4月末現在まで)
2011年4月30日	85.65	0.60%	-0.74%
2011年5月31日	84.99	-0.77%	0.03%
2011年6月30日	84.42	-0.68%	0.71%
2011年7月31日	83.43	-1.18%	1.91%
2011年8月31日	81.98	-1.73%	3.70%
2011年9月30日	80.59	-1.69%	5.49%
2011年10月31日	82.67	2.57%	2.85%
2011年11月30日	80.02	-3.20%	6.25%
2011年12月31日	81.27	1.57%	4.61%
2012年1月31日	82.37	1.35%	3.21%
2012年2月29日	85.60	3.92%	-0.68%
2012年3月31日	85.94	0.40%	-1.07%
2012年4月30日	85.02	-1.07%	-

### ● 特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
投資信託	40,363	98.7%
現金金その他	521	1.3%
純資産総額	40,885	100.0%

※ ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。前月比および期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。  
※ ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

※ 保険契約の解約等の異動に備えて、若干の現金金を保有しています。

※ 金額は単位未満を切り捨て、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

・とどくんですプラス(変額個人年金保険GF(Ⅱ型)〈年金原資保証特約(Ⅱ型)付加〉)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 組入投資信託の運用状況

2012年4月末現在

【特別勘定の名称】  
世界バランス35R

【特別勘定が投資する投資信託の名称】  
クレディ・アグリコル・世界バランス35VA(適格機関投資家限定)

- ・とどくんでプラス(変額個人年金保険GF(II型)(年金原資保証特約(II型)付加))は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- ・当該投資信託は、適格機関投資家専用で設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。

## 【主要投資対象】

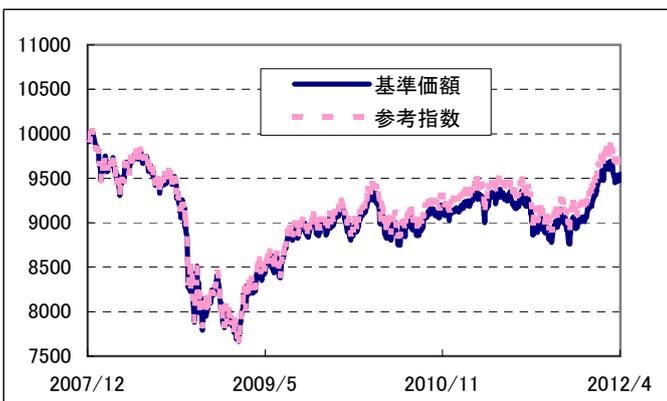
国内外の複数の資産(日本株式、外国株式、日本債券、外国債券)を主要投資対象とする投資信託証券。主に「SG 日本株式インデックスVAD(適格機関投資家専用)」、「CA外国株式ファンドVAA(為替ヘッジ付き、適格機関投資家専用)」、「CA外国債券ファンドVAA(適格機関投資家専用)」、「CA外国債券ファンドVAD(為替ヘッジ付き、適格機関投資家専用)」及び「CA日本債券ファンドVAD(適格機関投資家専用)」を通じて投資が行われます。

## 【運用方針】

国内外の複数の資産(日本株式、外国株式、日本債券、外国債券)を主要投資対象とする投資信託証券に主として投資(ファンド・オブ・ファンズ方式)を行います。各資産クラスへの実質的な基本配分比率は、国内株式10%、外国株式(為替ヘッジあり)25%、外国債券(為替ヘッジなし)25%、外国債券(為替ヘッジあり)20%、国内債券20%とします。各投資信託証券は、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目指して運用を行います。

SG 日本株式インデックスVAD(適格機関投資家専用)	: 「東証株価指数(TOPIX)」
CA外国株式ファンドVAA(為替ヘッジ付き、適格機関投資家専用)	: 「MSCIコクサイ・インデックス(税引前配当込み、円ヘッジベース)」
CA外国債券ファンドVAA(適格機関投資家専用)	: 「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)」
CA外国債券ファンドVAD(為替ヘッジ付き、適格機関投資家専用)	: 「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」
CA日本債券ファンドVAD(適格機関投資家専用)	: 「NOMURA-BPI(総合)」

## ■ 基準価額の推移(税引前分配金再投資)



- ・参考指数は、当ファンドが組入れている各投資信託証券がベンチマークとする指数の収益率に、各基本配分比率を乗じて合計したものです。
- ・ファンド及び参考指数の設定来の騰落率は、クレディ・アグリコル・世界バランス35VAの設定月(2007年12月)の月末を起算日としております。

## ■ 当月末基準価額・純資産総額

基準価額	9,547 円
純資産総額	40,362 百万円
設定日	2007年12月13日
決算日	原則 12月12日
信託期間	無期限

## ■ 騰落率(税引前分配金再投資)

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.86%	3.95%	4.29%	2.01%	14.44%	-4.62%
参考指数	-0.85%	4.03%	5.16%	2.31%	16.33%	-2.94%
差	-0.02%	-0.08%	-0.86%	-0.31%	-1.88%	-1.68%

## ■ ポートフォリオ構成

資産クラス	投資信託証券	基本配分比率	組入比率	差
日本株式	SG 日本株式インデックスVAD(適格機関投資家専用)	10.0%	9.9%	-0.1%
外国株式(為替ヘッジあり)	CA外国株式ファンドVAA(為替ヘッジ付き、適格機関投資家専用)	25.0%	25.2%	0.2%
外国債券(為替ヘッジなし)	CA外国債券ファンドVAA(適格機関投資家専用)	25.0%	25.0%	0.0%
外国債券(為替ヘッジあり)	CA外国債券ファンドVAD(為替ヘッジ付き、適格機関投資家専用)	20.0%	20.0%	0.0%
日本債券	CA日本債券ファンドVAD(適格機関投資家専用)	20.0%	20.0%	0.0%
-	現金等	0.0%	0.0%	0.0%
	合計	100.0%	100.0%	-

(注) 当資料は信頼できるとされる情報に基づきアムンディ・ジャパン株式会社により作成されていますが、アムンディ・ジャパン株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

# 組入投資信託の運用状況

2012年4月末現在

【特別勘定の名称】  
世界バランス35R

【特別勘定が投資する投資信託の名称】  
クレディ・アグリコル・世界バランス35VA(適格機関投資家限定)

- ・とどくんですプラス(変額個人年金保険GF(Ⅱ型)(年金原資保証特約(Ⅱ型)付加))は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- ・当該投資信託は、適格機関投資家専用で設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。

## ■ クレディ・アグリコル・世界バランス35VA(適格機関投資家限定)の組入投資信託の運用状況

【資産クラス】  
日本株式

【組入投資信託の名称】  
SG 日本株式インデックスVAD(適格機関投資家専用)

(委託会社:アムンディ・ジャパン株式会社)

### ■ ファンドの特色

主として東京証券取引所第一部に上場されている株式を主要投資対象とする「りそな・日本株式インデックス・マザーファンド」に投資し、東証株価指数(TOPIX)と連動する投資成果を目標として運用を行います。なお、わが国の株式等に直接投資することもあります。運用の効率化をはかるため、株価指数先物取引等を活用することがあります。

### ■ ベンチマーク

東証株価指数(TOPIX)配当込み

### ■ 主なリスク

株価変動リスク、信用リスク、流動性リスク等

### ■ ファンド概況

基準価額	5,277 円
純資産総額	8,425 百万円
設定日	2007年10月4日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

実質株式組入比率	99.93%
内 株式現物	96.60%
内 株式先物	3.33%

### ■ 基準価額・ベンチマーク騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
基準価額	-5.89%	7.56%	6.48%	-3.56%	1.42%	-40.81%
ベンチマーク	-5.86%	7.66%	6.54%	-3.36%	1.97%	-40.23%
差	-0.02%	-0.10%	-0.07%	-0.21%	-0.54%	-0.58%

- ・設定来の騰落率は、クレディ・アグリコル・世界バランス35VAの設定月の月末(2007年12月末)を起算日としております。
- ・ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)配当込みです。
- ※「TOPIX(東証株価指数)」は東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は東京証券取引所が有しています。

### ■ 組入上位5業種(マザーファンド・ベース)

	業種	比率
1	電気機器	13.11%
2	輸送用機器	10.35%
3	銀行業	9.19%
4	情報・通信業	6.06%
5	化学	5.75%

### ■ 組入上位10銘柄(マザーファンド・ベース)

組入全銘柄数: 1,609			
	銘柄名	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.77%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.54%
3	本田技研工業	輸送用機器	2.15%
4	キヤノン	電気機器	2.01%
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.70%
6	日本電信電話	情報・通信業	1.45%
7	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.42%
8	ファナック	電気機器	1.24%
9	武田薬品工業	医薬品	1.20%
10	三菱商事	卸売業	1.10%

※比率は純資産総額比

(注)当資料は信頼できるとされる情報に基づきアムンディ・ジャパン株式会社により作成されていますが、アムンディ・ジャパン株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

# 組入投資信託の運用状況

2012年4月末現在

【特別勘定の名称】  
世界バランス35R

【特別勘定が投資する投資信託の名称】  
クレディ・アグリコル・世界バランス35VA(適格機関投資家限定)

- ・とどくですプラス(変額個人年金保険GF(II型)(年金原資保証特約(II型)付加))は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。
- ・当該投資信託は、適格機関投資家専用で設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。

## ■ クレディ・アグリコル・世界バランス35VA(適格機関投資家限定)の組入投資信託の運用状況

【資産クラス】

外国株式(為替ヘッジあり)

【組入投資信託の名称】

CA外国株式ファンドVAA(為替ヘッジ付き、適格機関投資家専用)

(委託会社:アムンディ・ジャパン株式会社)

### ■ ファンドの特色

日本を除く世界の主要国の株式を主要投資対象とするCA外国株式マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券を主要投資対象とし、為替ヘッジを行うことでMSCIコクサイ・インデックス(税引前配当込み、円ヘッジベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います。

### ■ ベンチマーク

MSCIコクサイ・インデックス(税引前配当込み、円ヘッジベース)

### ■ 主なリスク

株価変動リスク、信用リスク、為替リスク等

### ■ ファンド概況

基準価額	8,913 円
純資産総額	10,525 百万円
設定日	2007年12月10日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

実質株式組入比率	99.70%
内 株式現物	96.46%
内 株式先物	3.24%

為替ヘッジ比率	101.22%
---------	---------

### ■ 基準価額・ベンチマーク騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
基準価額	-0.60%	4.96%	5.96%	-1.61%	49.97%	-8.63%
ベンチマーク	-0.56%	5.13%	6.69%	-0.85%	54.02%	-6.25%
差	-0.04%	-0.17%	-0.73%	-0.76%	-4.05%	-2.38%

- ・設定来の騰落率は、クレディ・アグリコル・世界バランス35VAの設定月の月末(2007年12月末)を起算日としております。
- ・ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス(税引前配当込み、円ヘッジベース)です。
- ※MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の主要国で構成される株価指数です。なお指数構成国は、定期的に見直しが行われ、変更されることがあります。

### ■ 組入上位5業種及び5カ国(マザーファンド・ベース)

業種名	比率	国名	比率
1 エネルギー	11.49%	1 アメリカ	56.89%
2 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.60%	2 イギリス	10.32%
3 資本財	7.21%	3 カナダ	5.23%
4 銀行	7.06%	4 フランス	3.91%
5 素材	6.93%	5 オーストラリア	3.88%

### ■ 組入上位10銘柄(マザーファンド・ベース)

組入全銘柄数: 1,204			
銘柄	国名	業種	比率
1 APPLE	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.45%
2 EXXON MOBIL	アメリカ	エネルギー	1.79%
3 MICROSOFT	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.04%
4 IBM	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.03%
5 CHEVRON	アメリカ	エネルギー	0.92%
6 GENERAL ELECTRIC	アメリカ	資本財	0.90%
7 NESTLE	スイス	食品・飲料・タバコ	0.86%
8 AT&T	アメリカ	電気通信サービス	0.83%
9 PROCTER & GAMBLE	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	0.80%
10 PFIZER	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.77%

※比率は純資産総額比です。国別配分はMSCI分類に基づき表示しております。

(注)当資料は信頼できるとされる情報に基づきアムンディ・ジャパン株式会社により作成されていますが、アムンディ・ジャパン株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

# 組入投資信託の運用状況

2012年4月末現在

【特別勘定の名称】  
世界バランス35R

【特別勘定が投資する投資信託の名称】  
クレディ・アグリコル・世界バランス35VA(適格機関投資家限定)

・とどくですプラス(変額個人年金保険GF(Ⅱ型)(年金原資保証特約(Ⅱ型)付加))は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。  
 ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。  
 ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
 ・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当該投資信託は、適格機関投資家専用で設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。

## ■ クレディ・アグリコル・世界バランス35VA(適格機関投資家限定)の組入投資信託の運用状況

【資産クラス】

外国債券(為替ヘッジなし)

【組入投資信託の名称】

CA外国債券ファンドVAA(適格機関投資家専用)

(委託会社:アムンディ・ジャパン株式会社)

### ■ ファンドの特色

日本を除く世界の主要国の公社債(国債等)を主要投資対象とするCA外国債券マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券への投資を通じて、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います。

### ■ ベンチマーク

シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

### ■ 主なリスク

債券価格変動リスク、信用リスク、為替リスク等

### ■ ファンド概況

基準価額	8,455 円
純資産総額	27,848 百万円
設定日	2007年12月10日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

実質債券組入比率	96.58%
内 債券現物	97.59%
内 債券先物	-1.01%

### ■ 基準価額・ベンチマーク騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
基準価額	-1.20%	7.15%	4.89%	1.27%	-4.31%	-16.59%
ベンチマーク	-1.27%	6.95%	7.09%	1.16%	-2.68%	-15.69%
差	0.07%	0.19%	-2.20%	0.11%	-1.63%	-0.90%

・設定来の騰落率は、クレディ・アグリコル・世界バランス35VAの設定月の月末(2007年12月末)を起算日としております。  
 ・ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)です。  
 ※シティグループ世界国債インデックスは、シティグループが開発した、世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

### ■ ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

平均複利利回り(%)	2.00
平均クーポン(%)	4.12
平均残存期間(年)	8.18
修正デュレーション(年)	6.21

### ■ 組入上位5カ国及び5通貨(マザーファンド・ベース)

	国名	比率	No	通貨	比率
1	アメリカ	40.58%	1	米ドル	40.58%
2	ドイツ	9.50%	2	ユーロ	40.21%
3	フランス	9.41%	3	英ポンド	7.77%
4	イタリア	8.76%	4	カナダドル	2.31%
5	イギリス	7.77%	5	豪ドル	1.47%

### ■ 組入上位10銘柄(マザーファンド・ベース)

組入全銘柄数: 110

No	銘柄	利率	償還日	通貨	組入比率
1	米国国債	5.125%	2016/5/15	米ドル	8.12%
2	米国国債	1.875%	2014/4/30	米ドル	8.06%
3	米国国債	4.250%	2014/11/15	米ドル	5.07%
4	米国国債	4.500%	2039/8/15	米ドル	4.10%
5	米国国債	3.125%	2021/5/15	米ドル	4.01%
6	米国国債	3.500%	2018/2/15	米ドル	3.92%
7	ドイツ国債	2.500%	2021/1/4	ユーロ	3.27%
8	米国国債	4.250%	2013/11/15	米ドル	3.22%
9	フランス国債	4.000%	2014/10/25	ユーロ	3.09%
10	米国国債	8.125%	2019/8/15	米ドル	2.93%

※比率は純資産総額比

(注)当資料は信頼できるとされる情報に基づきアムンディ・ジャパン株式会社により作成されていますが、アムンディ・ジャパン株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

# 組入投資信託の運用状況

2012年4月末現在

【特別勘定の名称】  
世界バランス35R

【特別勘定が投資する投資信託の名称】  
クレディ・アグリコル・世界バランス35VA(適格機関投資家限定)

・とどくですプラス(変額個人年金保険GF(Ⅱ型)〈年金原資保証特約(Ⅱ型)付加〉)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。  
 ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。  
 ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
 ・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当該投資信託は、適格機関投資家専用で設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。

## ■ クレディ・アグリコル・世界バランス35VA(適格機関投資家限定)の組入投資信託の運用状況

【資産クラス】

外国債券(為替ヘッジあり)

【組入投資信託の名称】

CA外国債券ファンドVAD(為替ヘッジ付き、適格機関投資家専用)

(委託会社:アムンディ・ジャパン株式会社)

### ■ ファンドの特色

日本を除く世界の主要国の公社債(国債等)を主要投資対象とするCA外国債券マザーファンド(適格機関投資家専用)受益証券への投資を通じて、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

### ■ ベンチマーク

シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)

### ■ 主なリスク

債券価格変動リスク、信用リスク、為替リスク等

### ■ ファンド概況

基準価額	11,798 円
純資産総額	29,088 百万円
設定日	2007年10月3日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

実質債券組入比率	96.30%
内 債券現物	97.31%
内 債券先物	-1.01%

為替ヘッジ比率	98.39%
---------	--------

### ■ 基準価額・ベンチマーク騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
基準価額	0.34%	0.16%	2.90%	7.46%	10.35%	16.99%
ベンチマーク	0.47%	0.32%	3.14%	7.94%	11.66%	19.61%
差	-0.13%	-0.16%	-0.25%	-0.48%	-1.31%	-2.63%

・設定来の騰落率は、クレディ・アグリコル・世界バランス35VAの設定月の月末(2007年12月末)を起算日としております。  
 ・ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)です。  
 ※シティグループ世界国債インデックスは、シティグループが開発した、世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

### ■ ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

平均複利利回り(%)	2.00
平均クーポン(%)	4.12
平均残存期間(年)	8.18
修正デュレーション(年)	6.21

### ■ 組入上位5カ国及び5通貨(マザーファンド・ベース)

国名		比率	通貨		比率
1	アメリカ	40.58%	1	米ドル	40.58%
2	ドイツ	9.50%	2	ユーロ	40.21%
3	フランス	9.41%	3	英ポンド	7.77%
4	イタリア	8.76%	4	カナダドル	2.31%
5	イギリス	7.77%	5	豪ドル	1.47%

### ■ 組入上位10銘柄(マザーファンド・ベース)

組入全銘柄数: 110

No	銘柄	利率	償還日	通貨	組入比率
1	米国国債	5.125%	2016/5/15	米ドル	8.12%
2	米国国債	1.875%	2014/4/30	米ドル	8.06%
3	米国国債	4.250%	2014/11/15	米ドル	5.07%
4	米国国債	4.500%	2039/8/15	米ドル	4.10%
5	米国国債	3.125%	2021/5/15	米ドル	4.01%
6	米国国債	3.500%	2018/2/15	米ドル	3.92%
7	ドイツ国債	2.500%	2021/1/4	ユーロ	3.27%
8	米国国債	4.250%	2013/11/15	米ドル	3.22%
9	フランス国債	4.000%	2014/10/25	ユーロ	3.09%
10	米国国債	8.125%	2019/8/15	米ドル	2.93%

※比率は純資産総額比

注)当資料は信頼できると思われる情報に基づきアムンディ・ジャパン株式会社により作成されていますが、アムンディ・ジャパン株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

# 組入投資信託の運用状況

2012年4月末現在

【特別勘定の名称】  
世界バランス35R

【特別勘定が投資する投資信託の名称】  
クレディ・アグリコル・世界バランス35VA(適格機関投資家限定)

・とどくですプラス(変額個人年金保険GF(Ⅱ型)(年金原資保証特約(Ⅱ型)付加))は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。  
 ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。  
 ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
 ・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当該投資信託は、適格機関投資家専用で設定された投資信託です。このため、ご契約者は、当該投資信託を直接購入することはできません。

## ■ クレディ・アグリコル・世界バランス35VA(適格機関投資家限定)の組入投資信託の運用状況

【資産クラス】  
日本債券

【組入投資信託の名称】  
CA日本債券ファンドVAD(適格機関投資家専用)

(委託会社:アムンディ・ジャパン株式会社)

### ■ ファンドの特色

わが国の公社債を主要投資対象とする「CA日本債券マザーファンド」(以下、「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、NOMURA-BPI(総合)の動きに連動する投資成果を目標として運用を行います。マザーファンドの運用にあたっては、株式会社りそな銀行に運用の指図に関する権限を委託します。

### ■ ベンチマーク

NOMURA-BPI(総合)

### ■ 主なリスク

債券価格変動リスク、信用リスク等

### ■ ファンド概況

基準価額	11,069 円
純資産総額	62,740 百万円
設定日	2007年10月3日
決算日	原則 10月2日
信託期間	無期限

実質債券組入比率	99.66%
内 債券現物	99.66%
内 債券先物	0.00%

### ■ 基準価額・ベンチマーク騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
基準価額	0.51%	0.65%	1.41%	2.91%	6.94%	9.33%
ベンチマーク	0.52%	0.69%	1.49%	3.07%	7.64%	10.37%
差	-0.01%	-0.04%	-0.08%	-0.16%	-0.70%	-1.03%

・設定来の騰落率は、クレディ・アグリコル・世界バランス35VAの設定月の月末(2007年12月末)を起算日としております。  
 ・ベンチマークは、NOMURA-BPI(総合)です。  
 ※NOMURA-BPI(総合)は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる委託会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

### ■ ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

平均複利回り(%)	0.69
平均クーポン(%)	1.41
平均残存期間(年)	8.24
修正デュレーション(年)	7.08

### ■ 種別組入比率(マザーファンド・ベース)

種別	ファンド	ベンチマーク	差
国債	76.42%	76.69%	-0.27%
地方債	7.45%	7.33%	0.12%
金融債	1.40%	1.31%	0.09%
政保債	4.28%	4.21%	0.07%
社債	8.48%	8.19%	0.29%
円建外債	0.70%	0.75%	-0.05%
MBS	1.26%	1.38%	-0.11%
ABS	0.00%	0.15%	-0.15%
合計	100.00%	100.00%	-

### ■ 組入上位10銘柄(マザーファンド・ベース)

組入全銘柄数: 379

	銘柄名	償還日	クーポン	比率
1	利付国庫債券(10年)第312回	2020/12/20	1.20%	1.56%
2	利付国庫債券(5年)第101回	2016/12/20	0.40%	1.41%
3	利付国庫債券(5年)第99回	2016/9/20	0.40%	1.33%
4	利付国庫債券(5年)第87回	2014/12/20	0.50%	1.30%
5	利付国庫債券(5年)第89回	2015/6/20	0.40%	1.16%
6	利付国庫債券(10年)第296回	2018/9/20	1.50%	1.14%
7	利付国庫債券(10年)第309回	2020/6/20	1.10%	1.08%
8	利付国庫債券(2年)第310回	2013/11/15	0.20%	1.07%
9	利付国庫債券(5年)第85回	2014/9/20	0.70%	1.07%
10	利付国庫債券(10年)第305回	2019/12/20	1.30%	1.06%

※比率は純資産総額比

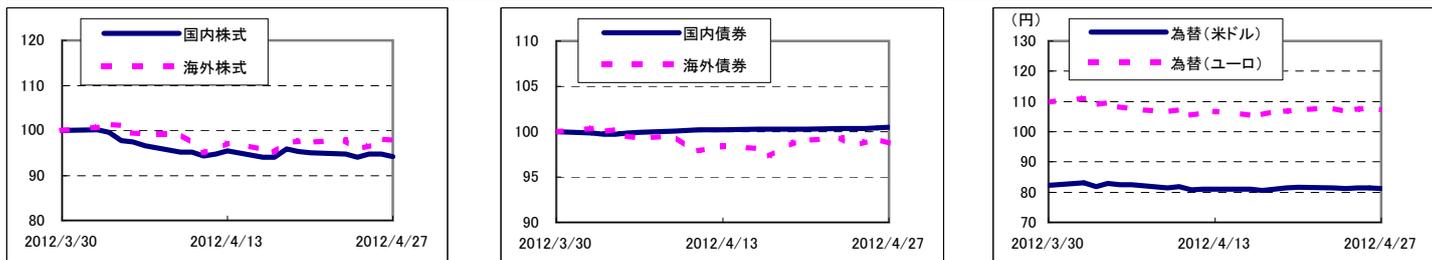
注)当資料は信頼できるとされる情報に基づきアムンディ・ジャパン株式会社により作成されていますが、アムンディ・ジャパン株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

■ 主要指数の動き

	国内株式	国内債券	海外株式	海外債券	為替	
参考指数	東証株価指数 (TOPIX)	NOMURA-BPI (総合)	MSCIコクサイ・ インデックス (税引前配当込み、 円ベース)	シティグループ 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	円/米ドル	円/ユーロ
2012/3/30	1109.28	338.18	1207.07	304.18	82.19	109.80
2012/4/27	1044.27	339.94	1181.99	300.31	81.19	107.24
変化率	-5.86%	0.52%	-2.08%	-1.27%	-1.22%	-2.33%

※海外株式と海外債券の指数はファンドの基準価額算定の基準となる期間に対応しております。

■ 主要指数の推移



※海外株式と海外債券の指数はファンドの基準価額算定の基準となる期間に対応しております。株式と債券のグラフデータは前月末を100として指数化しております。

■ 当月の投資環境と今後の見通し

【国内株式市場】

4月の国内株式市場は、欧州諸国の財政再建に対する警戒感や円高進行を受けて、初日の2日に月間高値を付けた以降はほぼ一本調子で下落となりました。保守的な業績予想と海外要因への注視が続く中、日本株式市場も様子見状態になっています。大型連休中の仏大統領選挙やギリシャ総選挙といった重要イベントの結果も株式市場にとっては逆風となり、為替市場では円高圧力も強まっています。全体の方向感が定まらない中、決算発表の結果が注目されますが、新年度の業績見通しが良好で、割安感もある好業績銘柄が主役となる個別物色が展開されると考えています。

【国内債券市場】

4月の国内債券市場は、欧州諸国の財政再建不安や日銀が追加金融緩和を実施すると観測を背景に国内長期金利は前月に引き続き低下(価格は上昇)しました。向こう数カ月を見通しますと、債券利回りは低位安定を続け、10年物国債利回りは1%に届かないものと思われます。10年および20年国債の入札額が今年度から増額されたにもかかわらず、銀行、保険会社の旺盛な入札で相場が堅調です。国会紛糾による予算執行、TPP協議、夏場の電力不足対策の停滞などが材料視される公算が大きく、債券相場の堅調は持続すると予想しています。

【外国株式市場】

4月の外国株式市場は、欧州債務不安の再燃に加え、予想を下回る米国経済指標や中国の景気減速などが重石となり、大半の株式市場で前月末に比べ下落となりました。足元の株式市場の調整は、トレンド転換ではなく踊り場であると見ています。経済に関するニュースはここ数カ月で改善してきており、グローバル経済は緩やかな回復軌道に乗っていると思われま。しかしながら、市場は現在、欧州債務不安の再燃など状況の変化とリスクプレミアムの変動に翻弄されており、先行き見通しの不透明感から当面は下落圧力にさらされるかもしれません。

【外国債券市場】

4月の外国債券市場は、米国では利回りが低下(価格が上昇)し、欧州市場ではドイツの利回りが低下する一方、フランスやイタリアの利回りは上昇(価格は下落)となりました。FRBは必要とあれば世界経済を支えるための措置を講じる用意があることを明らかにしています。マクロ経済指標が予想を下回る状況となった場合、追加金融緩和は年後半ではなく前半であると見ています。ECBは、年内は緩やかな景気回復を見込んでいます。当面はLTRO(長期資金供給オペ)の効果が十分に浸透しているかを見極めるとしており、追加利下げやSMP(証券市場プログラム)は年後半にマクロ経済が悪化した場合に検討されると思われます。

【為替市場】

4月の外国為替市場は、ドル/円相場は82円台後半で取引を開始した後、81円台前半で取引を終えました。ユーロ/円相場は、110円台後半で取引が始まった直後から急落し、16日には104円台半ばまで売り込まれましたが、月末は107円台前半で取引を終えました。当面のドル/円相場は、振幅は大きいものの方向感に乏しい展開を想定しています。ドルが急落すれば政府・日銀が介入を実施すると思われ、下値は78円程度と想定されます。逆に米景気の悲観論が後退し、6月で期限を迎えるツイスト・オペに代わる緩和策をFRBが打ち出さないと市場が判断するならば、84円を試しに行く展開も想定されます。一方、ユーロ/円相場は、フランスやオランダで財政再建の道筋が不透明になってきたことが弱材料となるものの、ギリシャ追加支援で揺れた今年1月のように100円を割り込んでいくリスクは小さいと思われま。為替市場は3年越しの混乱で最悪の事態も織り込んでいると思われ、ユーロ安が持続するとは予想しておりません。

注) 当資料は信頼できるとされる情報に基づきアムンディ・ジャパン株式会社により作成されていますが、アムンディ・ジャパン株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

## ご注意いただきたい事項

### ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用は、下記「契約初期費用」、「保険関係費用」および「資産運用関係費用」の合計となります。

	項目	内容	費用	備考(適用時期等)
ご契約時	契約初期費用	当保険の新契約成立等のために必要な費用	一時払保険料の <b>4%</b>	特別勘定への繰入前に一時払保険料から控除します。
運用期間中	保険関係費用 (保険契約管理費)	当保険の維持管理や死亡・災害死亡の保障等に 必要な費用	特別勘定の純資産総額に対して 年率 <b>2.7%</b>	特別勘定の純資産総額に対して 年率2.7%/365日を乗じた額を 毎日控除します。
	資産運用 関係費用* (資産運用管理費)	特別勘定の運用にかかる 費用(特別勘定が投資対象 とする投資信託の信託報酬 等が含まれます)	特別勘定の投資対象となる 投資信託の純資産総額に対して 年率 <b>0.2624475%</b> (税抜0.24995%)程度	特別勘定の投資対象となる 投資信託の純資産総額に対して 年率0.2624475%程度/365日 を乗じた額を毎日控除します。
年金支払 期間中	保険関係費用 (年金管理費)	年金支払の管理に かかる費用	支払年金額に対して <b>1%</b>	年金支払開始日以降、年1回の 年金支払日に責任準備金から 控除します。

\* 資産運用関係費用は、「クレディ・アグリコル・世界バランス35VA(適格機関投資家限定)」の信託報酬率と「クレディ・アグリコル・世界バランス35VA(適格機関投資家限定)」が主に投資対象とする投資信託証券の基本資産配分比率に応じて求められる信託報酬率の合計を記載しています。  
信託報酬の他、監査報酬、信託事務に要する諸費用、有価証券の売買手数料および消費税等の諸経費がかかります。なお、これら資産運用関係費用は、各投資信託の組入比率や運用状況によって異なりますので、具体的な金額や計算方法を記載しておりません。また運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。

### 投資リスクについて

この商品は、将来受け取る年金額、解約払戻金額、死亡保険金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしみの生命保険(年金保険)です。特別勘定は投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、解約払戻金等のお受け取りになる金額の合計額が、一時払込保険料の額を下回る可能性があります。

### ご注意いただきたい事項

- 「とどくんですプラス(変額個人年金保険GF(Ⅱ型)<年金原資保証特約(Ⅱ型)付加>)」は東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。
- 「とどくんですプラス(変額個人年金保険GF(Ⅱ型)<年金原資保証特約(Ⅱ型)付加>)」は運用期間満了時点で積立金額が基本保険金額を下回った場合でも、年金原資は基本保険金額の100%が最低保証されます。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

<p>【募集代理店】</p>	<p>【引受保険会社】  <b>東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社</b>                  〒141-6008                  東京都品川区大崎二丁目1番1号 ThinkPark Tower                  TEL 03-6420-4000(大代表)                  ホームページ <a href="http://www.tmn-financial.co.jp">http://www.tmn-financial.co.jp</a></p> <p><b>ご契約内容・各種手続きに関するお問合せは</b>                  ご契約者さま専用テレホンサービス <b>0120-155-730</b>                  受付時間 月～金/9:00～17:30                  (祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)</p>
----------------	--